

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	百貨店（売場主任）	・12月に入ると歳末商戦、ギフト商戦も始まり、多くの客が来店する。今月は高級ブランドが非常に好調なので、クリスマス商戦においても好調維持を見込んでいる。
		コンビニ（店長）	・売上、来客数が前年をクリアし始めている上に、これからはクリスマス、年末年始、初もうでなどのイベントが目白押しである。売込む商品を見極め、更に数字を上乗せできると見込んでいる。
		衣料品専門店（販売担当）	・2か月前にオープンしたショッピングセンターの開店景気はこのまま続くので、そちらに客が流れる分はあるが、選挙の影響を大きく受けた今月と比べると、3か月後は良くなる。年末年始もあるので、選挙が終われば入出はかなり良くなる。
		乗用車販売店（従業員）	・年度末に入るため車検対象客も多くなり、新卒者の需要も見込まれるので、やや良くなる。
		乗用車販売店（販売担当）	・このところしばらく新車投入がなかったが、今後2～3か月以内に新しく何車種かの発売が予定されている。少し景気が良くなってきたこともあり、絶対に売れると見込んでいる。
		乗用車販売店（営業担当）	・今までは社員を減らすという法人客が多かったが、ここに来て新入社員のために増車をするという商談が出てきている。
		一般レストラン（業務担当）	・12月の忘年会予約が前年並みに入ってきている。1件当たりの客数、料理の単価は前年を下回るものの、1～2月の新年会予約件数はやや前年を上回っている。
		タクシー（経営者）	・深夜の売上が伸びてきたので、忘年会シーズンを迎えてこれから先も良くなる。
	通信会社（営業担当）	・年末商戦が過ぎ、デジタル対応テレビの購入数も増えていくと、消費者の関心が徐々に高まり、相乗的にデジタル関連商品の売行きも上向く。	
	変わらない	商店街（代表者）	・大型ショッピングセンターやチェーン店が増え、新しい店に客を取られている。来年も同チェーンの新規出店は続くので、消費者の流れが気がかりである。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・全国的に景気は横並びである。生産者直売や催物会場には人が集まるが、その他は低調である。
		百貨店（営業担当）	・購買状況は今後もあまり変わらない。ガソリン、石油が値上がりしていることなどもあり、今のところ特に上向く傾向はみられない。
		百貨店（販売促進担当）	・暖冬の長期予報が出ており、コートや防寒物の動きに良い傾向はみられない。マークダウンまで買い控えをする客もいることを考えると、販売量はあまり伸びない。
		スーパー（総務担当）	・所得が増えないことには売上は大きく伸びず、景気回復は望めない。
スーパー（統括）		・個人消費はまだ堅調に見えるが、景気は減速傾向にある。これまで県内経済の景気回復を支えてきたIT関連を中心とした輸出拡大ペースが鈍化しており、原油価格の高止まり、米国の双子の赤字の増大など、為替相場に対する影響も無視できない。消費者の健康志向、アップグレード志向はより鮮明に現れてきており、全体としてはバランスが取れて、大きくは変わらない。	
衣料品専門店（統括）	・夏の台風、大雨、洪水、最近では新潟の地震と、全国的にいろいろな災害があり、消費者は気分的に購買意欲がなくなっている。暖かい日が続く、冬物への購買意欲もわず、購入時期も遅くなっている。		
その他専門店〔携帯電話〕（営業担当）	・新機種は12月には出そろってしまい、3か月後は販売数が落ち込む月でもあり、あまり期待はできない。		
都市型ホテル（スタッフ）	・消費者は思い切り財布のひもを締めて何とかしのいでいるような状態である。これから忘年会、新年会で多少動きはあるかもしれないが、しばらく景気は沈んだまま変わらない。		
都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊は稼働率70%前後を何とか維持しているが、宴会、割ぼう、各レストラン等は一方向に伸びてこない。この状況は今後も変わらない。		
旅行代理店（経営者）	・申込状況から考えても、単価、人数とも例年と変わらない。現状と全く同じような推移となる。		

	タクシー運転手	・12月は忘年会シーズンで一時的に少しは動きが増えるが、また悪くなる。
	観光名所（職員）	・忘年会、新年会シーズンに入るが、儉約ムードで盛り上がりには欠けるので、ホテル、レストランの売上は例年を下回る見込みである。
	競輪場（職員）	・G1レースがあったが、販売額がそれほど伸びていないので、今後も変わらない。
	美容室（経営者）	・最近では年末年始に向かって店の設備投資をする話や、独立したいという相談もあまりなく、良くなる状況ではない。
	住宅販売会社（経営者）	・冬場の降雪時期となり、戸建て販売の動きが特に鈍くなるが、当地域はマンションの建設ラッシュで販売は好調の様子である。地価はマンションに押されて下落傾向にあり、景気回復には結び付かない。
	住宅販売会社（経営者）	・ペイオフ関連で、一部の金持ちからの特需はまだあるものの、一般的な一次取得の客はまだまだである。借入金利が低いので、まだ安心できるが、上昇する時にどうなるかが問題である。
	住宅販売会社（経営者）	・不動産価格は下がる一方で、賃貸も必ず賃料の値引き交渉をしていくので、デフレが続く限りは良くはならない。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・来春の新入生の指定体育着について、各学校や父兄からもう少し安くしないと購入しにくいという声が多く聞かれるようになってきている。何十年か取り扱っているがこのようなことは初めてなので、景気は悪くなっている。
	商店街（代表者）	・天候が悪い時や寒い時などの週末は、客が大型店に流れてしまう。商店街へは買回りの低価格商品のみで済ませられそうなので、やや悪くなる。
	スーパー（経営者）	・競合店の新規出店から6か月が経ち、徐々に客数が増加してきたところに、また12月に地元の新たな競合店が出店する。売上、利益とも厳しくなる。
	コンビニ（店長）	・11月は新規大型ゲームソフト発売、店内外の各種イベント効果に加え、暖かい日が多かったため客足が伸び、良い結果となったが、今月だけのことである。
	衣料品専門店（店長）	・客は本当に必要な物しか買わないので、冬物でも良い結果は望めない。入卒のスーツやフォーマルスーツの売れる時期ではあるが、年々カジュアル志向にあるために改まったスーツ等を新調する人も少ない。
	高級レストラン（店長）	・中心商店街の衰退が著しいなかで営業努力により何とか現状を維持しているが、ここにきて一般の家計を直撃する増税の話題が出てきており、これからは消費意欲が冷え込み、かなり厳しくなる。
	一般レストラン（経営者）	・新駅周辺に次々と大型チェーン店の進出が相次ぎ、客足が大型店に傾いている。既存の商店街としては打つ手がない状態である。
	一般レストラン（経営者）	・新年会などの宴会は減少傾向にあり、予約数が少なくなっている。
	タクシー運転手	・年明けは、新年会や同級会、成人式などによるタクシー需要が見込まれるが、2月になると需要は減り、稼働日数も少ないので、やや悪くなる。
	美容室（経営者）	・世の中から良い材料が減っている。食べることや、ボーナスが減った分ローンなどをどう払うかと考えると、年末に向かい髪の毛をいじる暇もお金もないというのが客の雰囲気である。これから景気はますます大変な状況になる。
	その他サービス〔自動車整備業〕（事務長）	・一般工場では新車が売れず、売れるのはディーラーのみという構図がはっきりしてきている。1回目、2回目の車検が依然として減少しており、一般整備工場に入庫するのは若干車両が古くなってからという傾向である。
	設計事務所（所長）	・悪い状況が続いているので、細かい仕事もこなし、何とか乗り切っていかなければならない。
	住宅販売会社（経営者）	・企業は、人件費を削減して利益を増やしているが、収益が増えても、賃金には反映されていない。所得が伸びなければ景気が回復しているとはいえず、税制改革で税金が上昇することが決まれば、ますます景気は低迷する。
悪くなる	衣料品専門店（経営者）	・気温が高いため、冬物衣料の動きが悪い。バーゲンをしなれば売れないので利益が取れない。
企業 動向 関連	良くなる	-
	やや良くなる	化学工業（総務担当）
		・一部の商品ではあるものの、残業だけではカバーできないほど受注が増え、2直体制に切り替えて対応し始めている。

	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・引き合い件数が増加傾向にあり、情報化投資に前向きな企業が増えている。	
変わらない	一般機械器具製造業（生産管理担当）	・四輪駆動車向け部品を中心として、依然受注は好調である。一部ではあるが、交替出勤で年末年始を休まずに稼働する予定の部署もある。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・ワイヤーハーネスを供給している自動車メーカーが今月、来月とラインを5日間止める。かなり影響が出ているが、1月からはその分を動かし、1～3月にかけてはかなり仕事が入ってくる。現在入っているスポット受注は年内一杯の見込みなので、相殺すると変わらない。	
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・受注量や取引先の様子などをみると、非常に忙しかったが、このところはピークを超えている。今後もしばらく現状のまま変わらない。	
	輸送業（営業担当）	・今年は暖冬のため、冬場商品の輸送量が鈍い。燃料の軽油高もあることから、今後も業界的に厳しい状況が続く。	
	広告代理店（営業担当）	・今後しばらくは、大規模商業施設の建設や県外企業進出の動きはなく、非常に地味な経済動向となる。保守的なエリアにありがちな、おとなしく流れを見守る傾向が強い。	
	経営コンサルタント	・本業の質を高め、経営改善と革新的取組で事業の新展開を目指す動きがあるが、業績への反映は先のことなので、3か月後はまだ変わらない。	
やや悪くなる	食料品製造業（製造担当）	・台風による農作物の被害状況が悪く、原材料は前年に引き続き高騰を続けている。石油製品の高騰も量販店の販売価格、メーカーの原価に反映できない状況なので、先行き不透明感からやや悪い方向に向かう。	
	食料品製造業（営業統括）	・酒税増税の動きもあり、ワインや発泡酒が再び矢面に立つ気配があり、更に厳しい状況となる。	
	電気機械器具製造業（営業担当）	・受注競争激化により、仕事がなかなか取れない。原材料の高騰や鉄板が品薄であることなど、どれをとっても先行き不安な要素ばかりである。	
	金融業（経営企画担当）	・ネット販売などの状況を見ると、デジタル家電は市場への一巡感があり、価格競争によるメーカー、販売店の収益悪化がうかがえる。	
	不動産業（経営者）	・一部は良くなるかもしれないが、下請、孫請の段階ではマージンがかなり取られてしまうので、最終的にはやや悪くなる。	
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・市内百貨店が大規模な改装を終えて10月初めにオープンしたが、この2か月間、改装前と客足は変わらず、効果は出ていないと聞いている。 ・災害が消費者に与える心理的な影響が消費行動に現れ始めており、取引先の営業担当や販売員の話では、客から「台風や新潟中越地震の災害に遭った人たちのことを思えば、こんな物（コートなどの衣類や宝石、アクセサリなど）買えない」、「そのことを考えれば、ガソリンや灯油が高いのは我慢しなくては」と言われたということである。	
悪くなる	その他サービス業〔放送〕（営業担当）	・商業、サービス業等からのスポットコマース件数は減少傾向に転じ、3%程度減収の見込みである。年末年始のイベント受注が見込めず、先行きも厳しい。	
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・11月までは何とか前年比でプラスとなっていたが、12、1月の受注は前年を10%割る見込みである。3か月後の2月は生産調整でそれ以上のマイナスとなる予定であり、経営環境は大変厳しい。	
雇用関連	悪くなる	-	
	やや良くなる	職業安定所（職員）	・新規求職者数が減少している。大型の人員整理も減っているのでやや良くなる。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・仕事が忙しい取引先となくなる先があり、一進一退でなかなか良いところまでは至らない。良くなるということもなく、変わらない。

	人材派遣会社（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・最近は派遣登録者数が激減しており、裏を返せば、雇用数が拡大しているということである。単発の仕事では、各種アンケート調査、クレジットカードの勧誘、携帯ショップの販売業務などの依頼があり、オーダー件数は横ばいであるものの、登録者が少ないために契約成立が難しくなっている。 ・若年層の仕事に対する意識が変わってきている。自分に合った仕事か、生きがいや社会的貢献度で満足できる仕事かなど、選択基準のハードルが高くなっており、希望する仕事が見つかるまでは単発やパート、アルバイトでつなく傾向がみられる。
	職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> ・前年比での月間有効求職の減少が23か月、月間有効求人増加が25か月続いているが、年度末にかけて数件の企業整備の話が出ているので、先行きの判断は困難である。
	職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> ・新規求人数の変動が大きく、今後も非正規求人の割合が増加する見込みである。学卒求人は前月比で14%増加しており、特にデバイス関連の増加が著しいものの、派遣や請負といった求人が多く、不安定材料となっている。
	職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費が正社員よりも安くすむ派遣、請負の求人が増加傾向にある。
	学校 [短期大学]（就職担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・地元新聞社主催で、首都圏を含めた96校の大学等の就職担当者と、幅広い業種からの県内80企業の人事担当者との情報交換会が開催されたが、来年度を含めた採用について慎重なスタンスで、今年度並みの採用を考えている企業が多かったため、変わらない。
やや悪くなる	民間職業紹介機関（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・製造業の一部で採用の見直し、派遣社員の契約終了など不安材料が聞こえ始めてきている。県内景気をけん引してきた精密、ITなどの製造業の動向を注視する必要がある。
悪くなる		